

第3回機関リポジトリワーキング議事録

日 時：平成18年12月6日（水）15時～17時

場 所：附属図書館会議室

出席者：加藤、松井、山下、小野、若尾、岩月、土肥、阿部、大森 各委員

欠席者：今川 委員

議題

1. 前回（第2回）議事録の確認

第1回機関リポジトリワーキング議事録について、【資料1】に基づき報告され、原案のとおり確認した。

2. リポジトリシステムの調達状況について

大川主査より、【資料2】に基づき、リポジトリシステムの調達状況の報告及び今後のスケジュールについて説明があった。

3. 初期コンテンツの収集について

加藤座長及び大森情報推進課長より、【資料3】に基づき説明があり、審議の結果、以下のよう
確認された。

（1）博士論文の収集方法について

博士論文の収集方法については、電子ファイルの提出方法・学内の論文申請の手続きにどう組み込んでいくかなど
の問題が挙げられた。技術的な課題はあるが、Web上で論文を公開する機会を保障する必要はあり、さら
に検討を重ねることになった。

（主たる問題点）

--WordファイルからPDFへの変換時に、ページ付けが変わってしまうケースがある。

--新規提出論文の収集については、製本していないものを1部提出させ、図書館でスキャンしてPDF化
する方法も考えられるのではないか。

--完全に製本印刷して提出したものと一致させることを目指すのか。電子ファイルは補助的なものと
位置付けるか。

--紀要論文を幾つかまとめた形の博士論文が提出される場合もあり内容的には重複した登録となる
可能性がある（この件については、出版物としては別のものであり著者の意向次第であって、掲載を
拒むものではないことが確認された）。

--遡及的に許諾可否を調査しても、提供可能な状態の電子ファイルが存在することは期待薄。

--リポジトリ掲載後に、出版等の事情が発生して取り下げの希望があった場合の対応を考慮する必
要がある（この件については、申請書にチェック欄を設けてあることが確認された）。

--今後提出される論文について、リポジトリ登録の申請書配布するタイミングとしては最終審査後
研究科委員会で承認されてからが妥当。

--「申請書」とするよりも「許可書」といった表現の方が、許可することを期待されているという
印象を与えやすいのではないか。

(2) 紀要論文の掲載許諾依頼について

現在、学外者となっている方の連絡先調査について、研究科事務室に残る学位取得時の記録、各紀要編集担当の元に残る掲載時の記録などがあるとの示唆を得た。

(3) その他の初期コンテンツの収集方法について

・ワーキングペーパー類について、既に部局等のサーバ上に上がっているものの提供を依頼する場合、リンクにとどまらず本文の提供となった場合には、自サイトのダウンロード数を減ずることにつながるため、協力が得にくいのではないかと指摘があった。

・セミナー・シンポジウム等の成果物のリポジトリへの公表許諾を助成案内文書に盛り込んでもらう件については、強制的な許諾にすることは難しく、任意にした方がよいとの意見があった。

・セミナー・シンポジウム等の「成果物」とは何を指すのかを明確に示す必要があるとの指摘があった。

4. 申請フォーマットについて

大森課長より、【資料4】に基づき、著者からの自己申告で受け付ける申請フォーマットについて説明があった。次のような指摘があり、申請書の文言について事務局で検討し、再度提案することとなった。

・「搭載申請書」の「搭載」を分かりやすい表現、例えば「登録」に変更した方がよい。

・搭載申請書の注意事項で「研究、教育及び学習を目的とする場合に限定される」とされているが、運用指針のHDAの目的における「本学の教育・研究等の成果を、社会へ還元し、国際的な学術情報流通や産・官・学、NPO等との連携を促進する」に矛盾しないか。

なお、申請書式及び本文データを、Web上で操作し送信できる仕組みが必要との指摘があった。

5. 広報戦略について

大森情報推進課長より、【資料5】に基づき、今後の広報の内容について説明があった。

説明会の開催について、以下のような指摘があった。

・教授会での説明の前に、説明資料をメール添付で配布しておいてはどうか。

・まず各部局の広報担当者に対して説明をし、広報担当者に教授会で取り上げていただいてはどうか。

6. 運用指針(案)について

加藤座長より、【資料6】に基づき、運用指針(案)について説明があった。

・管理運営に関して必要な事項を検討する委員会を設置し、学長のもとでの全学的な委員会として位置づけることが確認された。

配布資料)

- 1 第2回機関リポジトリワーキング議事録(案)
- 2-1 一橋デジタルアーカイブズ(学術機関リポジトリ)システム仕様書
- 2-2 機関リポジトリ導入スケジュール
- 3-1 初期コンテンツの収集について
- 3-2 学位論文の一橋デジタルアーカイブズ搭載申請書(案)
- 3-3 紀要論文の掲載許諾依頼文例(案)
- 3-4 Hitotsubashi Invited Fellow Program 経費の助成について

4 一橋デジタルアーカイヴス搭載申請書 (案)

5-1 広報活動について

5-2 パンフレット案

6 運用指針(案)